

2018年8月29日

## 2018女子中高生夏の学校 報告書

河西 奈保子（首都大）男女共同参画委員会  
神戸 美花（AGC）男女共同参画委員会  
塩尻 誠子（応物事務局）男女共同参画委員会

**開催期間：**2018年8月9日（木）～11日（土）

**開催場所：**独立行政法人 国立女性教育会館

**主催：**女子中高生夏の学校 実行委員会

**目的：**女子中高生が科学技術にふれる、科学技術の世界でイキイキと活躍する女性たちとつながる、科学技術に関心のある仲間や先輩とともに将来を考えるための機会を提供する。

**参加者について：**

参加者数（参加側）：

女子中高生 117名

参加者数（開催側）：約 226名（うち、学生 TA26名）

参加団体数（学会等）：

ポスター展示・キャリア相談：42団体

実習・実験：17団体

**会議概要：**

2泊3日の合宿研修期間中、女子中高生が理系の研究者や技術者、大学生・大学院生等との交流を通じて、理系進路の魅力を知り、あるいは再確認し、理系に進もうという意思を高めることを目指したプログラムが実施された。

**応用物理学会からの参加者と協力内容：**

河西 奈保子（首都大） 企画委員

神戸 美花（AGC） 企画委員・一日参加者対応・ポスター展示・キャリア相談

塩尻 誠子（応用物理学会） ポスター展示・キャリア相談

### **【ポスター展示・キャリア相談】**

日時：2日目 8月10日 13:00～15:00

女子中高生向けに応用物理学会の活動や会員の紹介を行うポスター展示・キャリア相談を行った。応物からは神戸・塩尻が参加し、応用物理学会の対象分野・活動内容を紹介するポスターを2枚掲示した。

展示に訪れた生徒は10名程度で、物理に興味があつて話を聞きに来た生徒と、これから

進路を選択するが、物理は難しそうというイメージを持っている生徒の両方がいた。キャリア相談よりも、応用物理という学問分野そのものについての質問が多く、LEDやタブレットなど様々な製品に応用物理の技術が用いられていることを紹介した。他団体の展示では実演を交えて説明を行っており、応用物理に親しみを感じてもらうことを主眼とするならば、簡単な実験等を行うことで、もっと展示に訪れる生徒が増えると思われる。



### 【全体をとおして】

今年から運営方針が大きく変わり、JSTの補助金を受けず、女子中高生夏の学校 実行委員会が主催する形で開催された。昨年まで行われていた保護者・教員向けプログラムを実施せず、女子中高生向けプログラムのみとなったため、応物としては企画委員と、ポスター展示・キャリア相談での参加となった。

参加した女子中高生にとっては、3日間を通じて将来理系で学ぶことや、理系の職業に就くことの意義や価値を考える良い機会となったと思われる。

(以上)